

みかんぐみだより

2020年度 2月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

1年でいちばん寒い2月に入り、冷たい風の吹く毎日です。子どもたちは風にも負けず、園庭からは元気な声が聞こえています。みかん組での生活もあと2か月。健康管理には十分留意しながら、進級に向けて充実した思い出の多い日々をしたいと思います。



★子どもの様子★

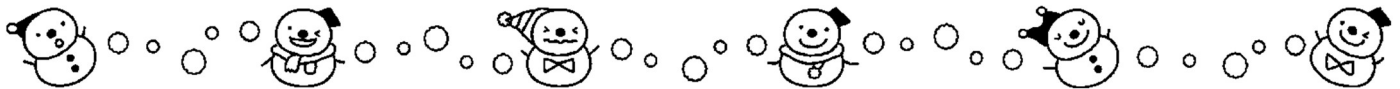
少しずつですが身の回りのこと（靴下、靴、上着、帽子）を、一人でしようする姿が見られるようになってきました。園庭に行く時は、自分のマークから上着、靴下、靴を見つけて、履こうとしたり、お友だちの靴下等も渡してあげたりする姿も見られます。うまくできなくても、何でも自分でやりたい年齢。時には、保育者の援助を嫌がる子もいて、それぞれに頑張る様子がでてきました。

『できな一い』『やって一』という声が段々と少なくなり『こう？』『できた』という言葉が聞こえてくるようになりました。うまくできないことで、イライラもありますが、できた時には『みてみて、できた』と嬉しそうに教えてくれます。

★お散歩★

お散歩に行くことが大好き。保育者が【お散歩】というワードを出すと『ん？お散歩？行く』と声掛けをする前に子どもたちは門の前に集まってきます。

お友だちと手を繋いで歩くのも上手になり『〇〇あったね』など会話を楽しむ姿も見られるようになってきました。公園や広場で遊ぶと、真っ先に石集めをしています。石を集めると自分のポケットに入れて『パパ・ママにあげるの』と嬉しそうにしまっています。また、石を一か所に集めて焚火をする姿もあり『この石熱いね』『あちちち』と一つの物を共有して遊べるようになってきました。保育園に戻る時間なり帰ることを伝えると、ほとんどの子が『やだ一』と返答。これからはお散歩に行く機会を多く作り、子どもたちが楽しめるよう工夫していきたいと思えます。



★なにこれ～？★

園庭で桜の木の下を歩いていると『ザクッザクッ』と音がして『ん？なんだ？』と子どもたちは不思議そうにしていました。そこには【霜柱】があり、触ってみると『つめたいね一』と積極的に触る子や恐る恐る触る子、遠くから見る子と反応が様々でした。もっと霜柱があるか周りをショベルで掘って、たくさん見つけると砂場に持っていき、料理開始。何ができるか様子を見守っていると『できた一』と霜柱と砂を混ぜた【カレー】が完成。食べる頃には霜柱は溶けてしまい『なんで？ない』とまた不思議そうにしていました。

★お知らせ★

○持ち物に記名があるか、また、文字が薄くなっている物もありますので、もう一度確認をお願い致します。

○自分でやりたい意欲が育ってきていますので、子どもの着替えはできるだけ着替えのしやすいものをご用意下さい。

